

学校要覧抜粋

Ⅱ 通信制課程

日 課 表

日 曜 日		月 曜 日	
職員朝会	8:30 ~ 8:40	職員朝会	8:30 ~ 8:40
S H R	8:45 ~ 8:55	S H R	9:35 ~ 9:45
1 校 時	9:10 ~ 10:00	1 校 時	10:00 ~ 10:50
2 校 時	10:10 ~ 11:00	2 校 時	11:00 ~ 11:50
3 校 時	11:10 ~ 12:00	3 校 時	12:00 ~ 12:50
4 校 時	12:10 ~ 13:00	昼 食	12:50 ~ 13:30
昼 食	13:00 ~ 13:40	4 校 時	13:35 ~ 14:25
5 校 時	13:45 ~ 14:35	5 校 時	14:35 ~ 15:25
6 校 時	14:45 ~ 15:35	6 校 時	15:35 ~ 16:25
清 掃 S H R	15:45 ~ 16:00	清 掃 S H R	16:35 ~ 16:50
部 活 動	16:00 ~	部 活 動	16:50 ~

[1] 設置の目的

教育基本法の趣旨に基づき、個人の経済的事情や通学距離の関係又は現に一定の職業に従事している等のために、進学の実意に燃えながらも全日制や定時制の高等学校に進学できない者に対し、通信制によって高等学校教育を行うことを目的としています。

[2] 学習方法

通信制の高等学校における教育は、授業を中心とする全日制や定時制の高等学校と異なり、生徒が自宅で個別に自学自習することを原則としています。その方法は次のとおりになっています。

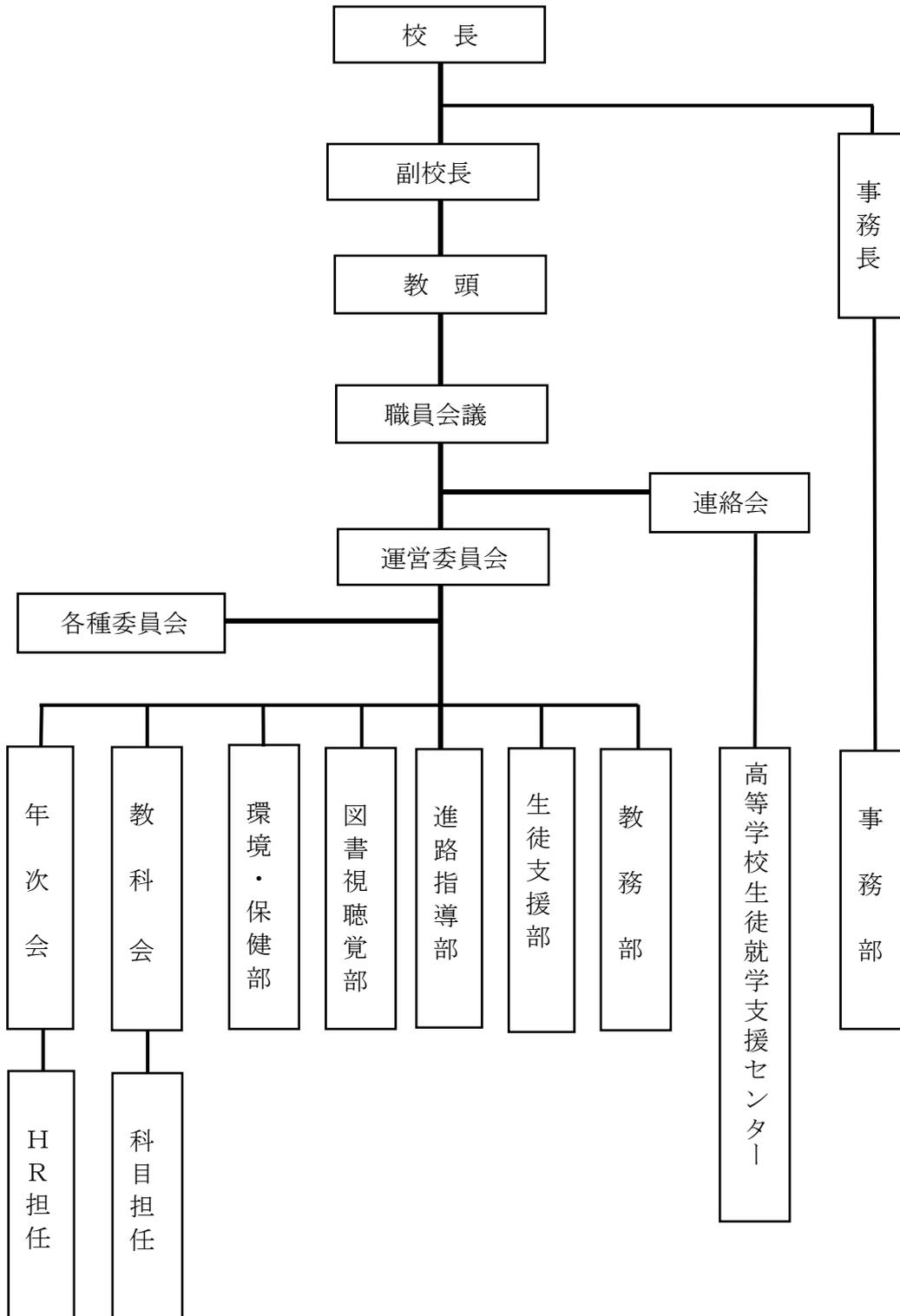
- 1 生徒は、自宅などにおいて教科書と学習書などをもとにして学習します。そして、各教科科目に与えられたレポート（報告課題）を学校に提出し、各教科科目の担当教師より添削指導を受けます。
- 2 毎週1回、日曜日または月曜日に行われるスクーリング（面接指導）に出席して指導を受けます。
- 3 上記1・2により、レポート（報告課題）とスクーリング（面接指導）により所定の学習を終えた後、定期考査を受けます。

このようにして逐次学習を進め、規定の高等学校教科科目74単位以上及び特別活動（30時間以上）を修了すれば高等学校卒業の資格が得られます。修業年限は3年以上です。

【その他の単位認定】

- 1 高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定
入学以前または在学中の高等学校卒業程度認定試験合格科目を高等学校の各教科・科目の単位として認定できます。
- 2 技能審査成果の単位認定
在学中に技能審査に合格して資格を取得した場合は、対応する科目を修得していれば、その科目をさらに深めたものとみなし、当該科目の単位数の増加単位として認定できます。
- 3 校外学修による単位認定
校外学修の単位は、「就業体験（インターンシップ）」「社会体験・ボランティア活動」「スポーツ・文化活動」等の証明を得られたとき、35単位時間（50分×35回）につき1単位を認定でき、在籍中3単位まで認定できます。

[4] 学校運営組織図



[5] 各部・各年次の目標

1 各部

(1) 教務部

- ① 本校の教育目標実現のために、教育活動が円滑に行われるよう全職員の共通理解と協力体制の確立を目指す。
- ② 各部・各年次・各教科との連携に努め、諸課題に対し適切な対応を図る。
- ③ 諸表簿の点検と整理に努める。
- ④ 行事の円滑な運営に努める。

(2) 生徒支援部

- ① 身分証明書携帯指導の徹底。
- ② 校内及び学校周辺での禁煙指導。
- ③ 交通安全指導及び駐車マナーの啓発。
- ④ 健康・安全な部活動の実践。
- ⑤ 学校生活の充実と向上を図るための自主的、実践的な校友会活動。

(3) 進路指導部

- ① 進学に関する情報収集及び生徒への周知、進学指導の充実。
- ② 就職に関する情報収集及び生徒への周知、就職指導の充実。
- ③ 「進路だより」「進路の手引き」の充実と発行。
- ④ 各年次との連携の強化。

(4) 図書視聴覚部

- ① 視聴覚機器の整備及び拡充。
- ② スクーリング代替の研究と推進。
- ③ 学校図書館活用の推進。

(5) 環境・保健部

環境美化

- ① 校内緑化及び校内美化を計画的に実施する。
- ② 学習環境の整備と清掃徹底を図る。
- ③ 避難訓練や安全教育をとおして防災意識を高める。

保健

① 基本目標

- ア 心身ともに健康な生徒の育成を図る。
- イ 健康相談・教育相談の活性化を図る。

② 努力事項

- ア 健康診断及び諸検査の徹底を図り、疾病の早期発見・治療の勧奨に努める。
- イ 担任・保護者及びスクールカウンセラー、諸関係機関との連携に努める。

2 各年次

(1) 1年次

自己実現に向けて努力する姿勢を身につけさせ、学校生活の充実を図る。

- ① 自学自習の意識を高め、レポートの提出日を厳守させることを目指す。
- ② 各教科担任との連携を密にして、生徒の単位修得に向け、支援を強化する。
- ③ 学校の諸行事への積極的な参加を促進する。
- ④ ホームルームで交流を図る。

(2) 2年次

生徒の豊かな人間形成を目標に、学校生活（学習活動、学校行事）の充実を図る。

- ① 規律ある学校生活を目指し、スクーリングを大切にし、レポートの提出日を厳守させる。
- ② 各教科担任との連携を密にする。
- ③ 諸行事に積極的に参加する姿勢を育てる。

(3) 3年次

最終年次としての自覚を促し、学習に専念させるとともに生徒相互の絆を深めつつ学校生活の充実を図る。

- ① 計画的な自学自習への取り組みを徹底させ、レポートの提出日を厳守させる。
- ② 進路指導部と連携を図り、自己の実現、進学・就職の早期決定の指導に努める。
- ③ 諸行事への参加を積極的に促し、中心的役割を果たせるようにする。

(4) 協力校

- ① 協力校の仲間作りと年次を超えた交流を大切にする。
- ② 規律ある学校生活を目指し、スクーリングを大切にしている。
- ③ 計画的な自学自習への取り組みを徹底させ、レポートの提出日を厳守させる。
- ④ 離島世話係、教科担任との連携を密にし、情報交換の充実を図る。

[6] 各教科の基本目標・努力事項

1 国語科

(1) 基本目標

書く、読む、話す、聞くということの指導を通じて基礎学力の向上を図る。

(2) 努力事項

- ①わかりやすいスクーリングを展開する。
- ②学習意欲を高める工夫をし、自学自習を促す。
- ③レポートの添削指導をきめ細かく行う。

2 地理歴史科

(1) 基本目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

(2) 努力事項

- ①自学自習を促し自力で解答に到達できるようにサポートする。
- ②レポートの添削指導を通じ生徒の学習意欲を高めさせ、基礎基本学習の徹底を図る。
- ③生徒の興味関心をとらえる、わかりやすく楽しい授業を目指す。

3 公民科

(1) 基本目標

広い視野に立って、現代の社会について理解を深めさせるとともに、人間としてのあり方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

(2) 努力事項

- ①自学自習を促し自力で解答に到達できるようにサポートする。
- ②レポートの添削指導を通じ生徒の学習意欲を高めさせ、基礎基本学習の徹底を図る。
- ③生徒の興味関心をとらえる、わかりやすく楽しい授業を目指す。

4 数学科

(1) 基本目標

数学の楽しさや数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。

(2) 努力事項

- ①基礎学力の向上に努める。
- ②生徒の理解を深めるICT機器の活用とスクーリングの研究及び実施。
- ③生徒のレポート作成の充実を図るための補助問題の研究及び実施。

5 理科

(1) 基本目標

- ①総合的な自然観や科学的な思考の育成を図る。
- ②自然を尊重する態度を養い、SDGsなど、身近な事象に関心を持たせる。

(2) 努力事項

- ①分かりやすいスクーリングの実践で基礎学力の向上を図る。
- ②自学自習をサポートするための手立てを工夫する。

6 保健体育科

(1) 基本目標

- ①生涯スポーツを志向し、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。
- ②健康・安全に対する意識の高揚を図る。

(2) 努力事項

- ①運動に親しみ、健康の増進を図り、生涯スポーツにつなげる。
(スポーツ等の楽しみ方を理解し、技術を向上させる。)
- ②健康・安全に留意し、マナーを守り、自主的に運動する態度を育てる。
(自学自習、時間の有効利用、体育着の着用)
- ③本校の実態に適した教材の開発。

7 芸術科（音楽）

（1）基本目標

音楽の基礎的な知識および技能を身につけることにより、豊かな創造力、音楽を愛好する心情を育てる。

（2）努力事項

- ①わかりやすいスクーリングの展開。
- ②興味関心が持てるスクーリング内容の工夫。
- ③視聴覚教材を充実させ、生徒の音楽に対する興味関心を深める。

8 芸術科（書道）

（1）基本目標

生徒の素質を高め、書道を愛好する心情を育てる。

（2）努力事項

- ①わかりやすいスクーリングの展開。
- ②古典の臨書を通して表現力と鑑賞力を高め創作の喜びを味わわせる。
- ③書を身近なものとして、生活の中に取り入れるスクーリング内容の工夫。

9 外国語科

（1）基本目標

英語の基礎的な知識を養うとともに、英語を理解し、英語に親しむ態度を育てる。

（2）努力事項

- ①わかりやすい授業をこころがけ、英語に親しませ、基礎力を養う。
- ②学習へのモチベーションを高め、自学自習に臨む姿勢を養う。
- ③英語を通して、外国の人々の生活やものの見方についての理解を深めるように努める。

10 家庭科

（1）基本目標

よりよく生きるという視点で学習に取り組み、自分自身の生き方や暮らし方を見つめ直す。

（2）努力事項

- ①わかりやすいスクーリングを展開する。
- ②学習意欲を高め、自学自習をサポートするための手立てを工夫する。
- ③身近な生活に結びつく学習内容や教材・教具を工夫する。

11 情報科

（1）基本目標

情報化の発展に主体的に対応できる能力の育成を目指す。

（2）努力事項

- ①わかりやすいスクーリングを展開する。
- ②情報モラルの向上を目指す。
- ③情報機器を積極的に活用する姿勢を育てる。

12 商業科

（1）基本目標

実生活に役立つような学習に取り組み、人生設計の基礎となる知識を身につける。

（2）努力事項

- ①商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させる。
- ②わかりやすいスクーリングの展開。
- ③実生活に結びつく学習内容・教材・教具の工夫。

[7] 生徒調査

1 生徒数

令和5年5月1日現在

	年次	1年			2年			3年			全体										
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計								
本校	A	16	3	20	0	39	18	0	21	2	41	14	2	24	0	40	48	5	65	2	120
	B	16	2	21	0	39	18	1	20	2	41	13	2	24	1	40	47	5	65	3	120
	C	17	2	21	0	40	18	1	21	1	41	14	1	24	0	39	49	4	66	1	120
	D	0	0	0	0	0	17	2	21	2	42	13	2	24	1	40	30	4	45	3	82
	E	17	2	20	1	40	16	2	20	2	40	11	0	31	1	43	44	4	71	4	123
	小計	66	9	82	1	158	87	6	103	9	205	65	7	127	3	202	218	22	312	13	565
協力校	宮古	5	1	8	0	14	2	0	7	0	9	2	0	5	0	7	9	1	20	0	30
	八重山	2	0	4	0	6	3	0	8	0	11	5	0	6	0	11	10	0	18	0	28
	久米島	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	小計	7	1	12	0	20	5	0	15	1	21	7	0	11	0	18	19	1	38	1	59
活動生 休学生	73	10	94	1	178	92	6	118	10	226	72	7	138	3	220	237	23	350	14	624	
未登録→休学	0		0		0	1		1		2	0		0		0	1		1		2	
未登録生	11		21		32	26		25		51	31		27		58	68		73		141	
通信在籍生徒数	94		116		210	125		154		279	110		168		278	329		438		767	
支援センター 在籍生徒数	42		24		66	42		39		81	20		16		36	104		79		183	
総生徒数	136		140		276	167		193		360	130		184		314	433		517		950	

2 活動生年齢分布

年齢層	1年			2年			3年			全体		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
15歳	25	46	71	0	0	0	0	0	0	25	46	71
16歳	17	26	43	17	37	54	0	0	0	34	63	97
17歳	13	8	21	30	47	77	15	36	51	58	91	149
18歳	5	2	7	15	12	27	15	39	54	35	53	88
19歳	3	4	7	2	3	5	10	16	26	15	23	38
20～24歳	6	2	8	21	10	31	24	30	54	51	42	93
25～29歳	0	0	0	4	1	5	5	6	11	9	7	16
30～39歳	1	1	2	2	3	5	2	5	7	5	9	14
40～49歳	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3	6	9
50～59歳	1	2	3	0	2	2	0	2	2	1	6	7
60以上	1	1	2	0	1	1	0	2	2	1	4	5
合計	73	94	167	92	118	210	72	138	210	237	350	587
年齢平均	18.5	18.1	18.2	19.3	19.3	19.3	20.7	21.3	21.1	19.5	19.8	19.7

3 年度別入学者数・卒業者数の推移

校区分	年 度	入 学 者 数						卒 業 者 数			
		新入生			転・編入生			合計	男	女	計
		男	女	計	男	女	計				
小 緑	昭和44年			236 (2)							
	45			196 (3)							
	46			169 (3)					30	27	57
	47			179 (2)			18	197	30	26	56
	48			144 (1)			26	170	25	39	64
	49			209 (4)			25	234	20	33	53
	50			186 (1)			27	213	33	42	75
	51			213			25	238	17	35	52
泊	52	121	91	212	9	8	17	229	47	58	105
	53	112	94	206	16	16	32	238	45	45	90
	54	113	115	228	18	11	29	257	49	69	118
	55	111	119	230	14	17	31	261	52	53	105
	56	115	122	237	4	10	14	251	76	70	146
	57	112	134	246	19	17	36	282	64	80	144
	58	104	133	237	11	9	20	257	63	98	161
	59	113	132	245	11	13	24	269	77	96	173
	60	77	162	239	10	3	13	252	76	113	189
	61	81	158	239	5	10	15	254	68	118	186
	62	111	160	271	5	3	8	279	73	108	181
	63	92	143	235	3	5	8	243	67	128	195
	平成元年	83	178	261	5	11	16	277	70	137	207
	2	82	195	277	9	5	14	291	78	141	219
	3	81	178	259	4	7	11	270	65	116	181
	4	57	196	253	9	6	15	268	58	159	217
	5	76	172	248	7	10	17	265	127	330	457
	6	69	179	248	19	17	36	284	49	182	231
	7	81	162	243	16	27	43	286	59	162	221
	8	77	163	240	32	31	63	303	65	167	232
	9	53	117	170	36	41	77	247	50	137	187
	10	74	109	183	59	65	124	307	65	141	206
	11	91	126	217	58	57	115	332	54	102	156
	12	104	136	240	70	73	143	383	63	121	184
	13	110	120	230	46	38	84	314	67	106	173
	14	83	107	190	43	43	86	276	68	122	190
	15	83	107	190	48	54	102	292	87	133	220
	16	98	114	212	68	79	147	359	73	113	186
	17	80	101	181	68	88	156	337	63	130	193
	18	76	77	153	72	91	163	316	74	122	196
	19	45	98	143	78	110	188	331	64	112	176
	20	47	95	142	65	83	148	290	79	117	196
	21	28	63	91	58	78	136	227	86	136	222
22	44	64	108	87	113	200	308	93	143	236	
23	45	73	118	58	89	147	265	85	140	225	
24	29	58	87	103	100	203	290	64	127	191	
25	45	51	96	95	131	226	322	72	116	188	
26	42	51	93	70	122	192	285	63	106	169	
27	29	37	66	97	126	223	289	56	119	175	
28	25	48	73	101	136	237	310	48	123	171	
29	22	34	56	99	132	231	287	59	107	166	
30	17	35	52	98	120	218	270	54	108	162	
令和元年	15	33	48	109	118	227	275	61	97	158	
令和2年	24	43	67	75	105	180	247	61	102	163	
令和3年	22	32	54	76	100	176	230	61	107	168	
令和4年	23	52	75	48	75	123	198	41	99	140	
令和5年	28	53	81	71	96	167	248				
合計								3,194	5,718	8,912	

※ 入学者の数は、入学式に入学を認めた者の数である
 ※ 転編入生の数は、平成11年度から後期入学者の数も含める
 ※ 卒業者の数は、平成11年度から前期卒業者の数も含める
 ※ 令和5年度の入学者数は、前期入学者の数である

[10] 令和5年度 教育課程表

英・専・総	教科	科目	必履修	単位数		1年次科目		2年次科目		3年次科目		単位数合計	各教科単位数の合計	備考	
				標準	実施	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎	2	2	2						2	4~12	☆国語総合(前期)	
		言語文化	◎	2	2		2					2		☆国語総合(後期)	
		国語表現		3	4					2	2	0~4			
		文学国語		4	4			2	2			0~4			☆現代文B
	地歴	歴史総合	◎	2	2			★2			※2	2	4~6	☆世界史A	
		地理総合	◎	2	2				★2	※2		2		☆地理A	
		沖縄の歴史		学校設定	2						2	0~2			
	公民	公共	◎	2	2	★2			※2			2	2	☆現代社会	
	数学	数学Ⅰ	◎	3	4	2	2					4	4~16		
		数学Ⅱ		4	6						3	3		0~6	「数学Ⅰ」の履修が必要
		数学A		2	4			2	2			0~4			
		学び直しの数学		学校設定	2	1	1					0~2			
	理科	科学と人間生活	○	2	2	★2					※2	0~2	4~11	「科学と人間生活」を含む2科目または基礎を付した科目3科目	
		物理基礎	○	2	2					2		0~2			
		化学基礎	○	2	2			2				0~2			
		生物基礎	○	2	2		2					0~2			
		地学基礎	○	2	2				2			0~2			
		理科実験・実習		学校設定	1						1	0~1			
	保体	体育	◎	7~8	8	1	1	1	2	2	1	7~8	9~10		
		保健	◎	2	2	★2			※2			2			
	芸術	音楽Ⅰ	○	2	2		★2	※2				0~2	2~5	音楽Ⅰ(2)、書道Ⅰ(2)から1科目	
		書道Ⅰ	○	2	2	★2			※2			0~2			
		沖縄の三線		学校設定	1			1				0~1			
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	◎	3	4	2	2					4	4~10	☆コミュニケーション英語Ⅰ	
		英語コミュニケーションⅡ		4	1				1			0~1		☆コミュニケーション英語Ⅱ 「英語コミュニケーションⅠ」の履修が原則必要	
		コミュニケーション英語Ⅱ		4	3					1	2	0~3		「コミュニケーション英語Ⅰ(英語コミュニケーションⅠ)」の履修が原則必要	
		論理・表現Ⅰ		2	2			2				0~2			
	家庭	家庭基礎	◎	2	2				★2	※2		2	2~4		
		生活教養		学校設定	2					2		0~2			
	情報	情報Ⅰ	◎	2	2		★2			※2		2	2~4	☆社会と情報	
情報活用			学校設定	2			2				0~2				
主として開設される各科目	商業	ビジネス基礎		2~6	3			3			0~3	0~6			
		情報処理		2~6	3					3	0~3				
	家庭	フードデザイン		2~6	2				2		0~2	0~4			
子どもの発達と保育		2~6	2					2		0~2					
校外学修	学校外学習		学校設定	(3)							0~3	0~3	学校外における学修として一定の要件を満たすもの。3年間で3単位まで履修可能		
	社会体験活動														
共通教科・科目単位数 合計					16	14	14	13	12	11	80	校外学修は除く			
専門教科・科目単位数 合計					0	0	3	0	2	5	10				
総合的な探究の時間	総合Ⅰ	◎	3~6	1	1	※1						3			
	総合Ⅱ	◎		1			1	※1							
	総合Ⅲ	◎		1					1	※1					
単位数 小計					17	14	18	13	15	16	93				
特別活動(ホームルーム活動・学校行事)					◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇				
単位数 総合計					17	14	18	13	15	16	93				
各年次 単位数 総合計					31	31	31	31	31	74~93	卒業に必要な総単位数は74単位以上				

注) 通信制課程において、生徒は所属年次にとらわれず、個々に応じて卒業に必要な科目を選択することができる。

- ① ◎は必履修科目、○は選択必履修科目
- ② 学校設定科目は合わせて20単位までとする。
- ③ ★を優先して履修し、未履修の場合は※を履修する。
- ④ ◇は在籍期×5時間(5~30時間)
- ⑤ 備考欄の☆は令和3年度以前の科目名である。

[12] 令和5年度 使用教科書・副読本

教科	科目名	発行者	記号・番号	教科書名	使用年次科目
国語	現代の国語	東書	現国701	新編現代の国語	1年次科目
	言語文化	東書	言文701	新編言語文化	1年次科目
	文学国語	第一	文国710	高等学校 標準文学国語	2年次科目
	国語表現	教出	国表306	国語表現 改訂版	3年次科目
地理 歴史	地理総合	帝国	地総703	高等学校 新地理総合	2・3年次科目
	歴史総合	山川	歴総709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	2・3年次科目
公民	公共	第一	公共711	高等学校 新公共	1・3年次科目
数学	数学Ⅰ	東書	数Ⅰ704 数Ⅰ705	新数学Ⅰ 新数学Ⅰ 解答編	1年次科目
	数学Ⅱ	東書	数Ⅱ319	改訂 新数学Ⅱ	3年次科目
	数学A	東書	数A704 数A705	新数学A 新数学A 解答編	2年次科目
理科	科学と人間生活	第一	科人705	高等学校 科学と人間生活	1・3年次科目
	物理基礎	東書	物基312	改訂 新編物理基礎	3年次科目
	化学基礎	東書	化基702	新編化学基礎	2年次科目
	生物基礎	第一	生基711	高等学校 新生物基礎	1年次科目
	地学基礎	東書	地基701	地学基礎	2年次科目
保健体育	保健	大修館	保体701	現代高等保健体育	1・2年次科目
芸術	音楽Ⅰ	教出	音Ⅰ701	音楽Ⅰ Tutti+	1・2年次科目
	書道Ⅰ	東書	書Ⅰ701	書道Ⅰ	1・2年次科目
外国語	英語コミュニケーションⅠ	東書	CⅠ701	All Aboard! English CommunicationⅠ	1年次科目
	英語コミュニケーションⅡ	東書	CⅡ701	All Aboard! English CommunicationⅡ	2年次科目
	コミュニケーション英語Ⅱ	東書	コⅡ301	All Aboard! Communication EnglishⅡ	3年次科目
	論理・表現Ⅰ	東書	論Ⅰ701	NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ	2年次科目
家庭	家庭基礎	東書	家基701	家庭基礎 自立・共生・創造	2・3年次科目
情報	情報Ⅰ	東書	情Ⅰ701	新編情報Ⅰ	1・3年次科目
商業	ビジネス基礎	実教	商業701	ビジネス基礎	2年次科目
	情報処理	東法	商業344	情報処理 新訂版	3年次科目
家庭 (専門)	子どもの発達と保育	実教	家庭311	子どもの発達と保育 新訂版	3年次科目
	フードデザイン	実教	家庭313	フードデザイン 新訂版	3年次科目

2. 使用副読本・学習書

教科	科目名	発行所	副読本名	使用年次科目
国語	文学国語	第一学習社編集部	学習課題集・標準文学国語	2年次科目
地理歴史	沖縄の歴史	編集工房 東洋企画	新訂ジュニア版 琉球・沖縄史	3年次科目
数学	学び直しの数学	かんき出版	改訂版 中学校3年間の数学が1冊で しっかりわかる本	1年次科目
保健体育	体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	大修館書店	Active Sports2023〔総合版〕	全年次科目
芸術	沖縄の三線	(株)千野出版事業部	改訂版 楽しい沖縄三線教室	2年次科目
外国語	英語コミュニケーションⅠ	NHK出版	All Aboard! English CommunicationⅠ	1年次科目
	英語コミュニケーションⅡ	NHK出版	All Aboard! English CommunicationⅡ	2年次科目
	コミュニケーション英語Ⅱ	NHK出版	All Aboard! Communication EnglishⅡ	3年次科目
家庭	生活教養	教育図書株式会社	最新版 楽しく学べるマナーの基本	3年次科目
情報	情報活用	FOM出版	よくわかる初心者のためのパソコン 入門 改訂版 Windows10 April 2018 Update対応	2年次科目

[13] 部 活 動

1 目 標

- ① 健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図る。
- ② 心身の健康を助長し、余暇を活用する態度を養う。
- ③ 自主性を育てると共に、集団生活において協力していく態度を養う。
- ④ 仲間意識を養い、連帯感を高め、相互の更なる成長を図る。

2 新設の手続き方法

- ① 顧問及び希望生徒がいること。
- ② 新設にあたり、趣意書を学校の部活動係へ提出すること。
- ③ 職員会議と校友会運営委員会の合意を得るものとする。
- ④ 新設後1年間を準部とし、原則として予算はないものとする。
1年経過後、再び職員会議と校友会運営委員会の合意を経て新設されるものとする。
- ⑤ 新設申請は毎年4月中に学校の部活動係へ上記①、②を明記の上、提出する。

3 部活動一覧

〈 文化系 〉

部 活 動 名
書 道
家庭クラブ
パソコン
放 送
琉球芸能
英 会 話
美 術
茶 道
ボランティア
合 唱
簿 記
軽 音 楽

〈 体育系 〉

部 活 動 名
ソフトテニス
バスケットボール
陸 上
バレーボール
バドミントン
軟式野球
卓 球

[14]進路別集計（過去5年間の進路決定状況）

1 令和4年度 卒業生進路決定状況

卒業生 140名 (前後期含む)	就 職			進 学							進路決定者数
				四年生大学		短期大学		専修学校等		進学計	
	県内	県外	計	県内	県外	県内	県外	県内	県外		
男子	12	1	13	1	0	0	1	4	3	9	22
女子	22	1	23	5	4	1	0	11	3	24	47
計	34	2	36	6	4	1	1	15	6	33	69

2 平成30年度～令和4年度の進路決定状況

卒業生数 (前後期含む)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			162	162	163	169	140
進 学	四年生 大学	県内	2	2	3	6	6
		県外	1	1	0	1	4
	短期大学	県内	0	0	3	3	1
		県外	0	0	1	1	1
	専修 学校等	県内	7	7	11	13	15
		県外	4	4	4	0	6
計		14	14	22	24	33	
就 職	県内		38	6	32	32	34
	県外		0	0	3	8	2
	計		38	6	35	40	36
進路決定者数			52	20	57	64	69

[15] 令和5年度 学校保健計画

月	4	5	6	7. 8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点	基本的生活習慣の確立	自らの健康状態の把握	治療や未検査者の早めの受診 ★薬物乱用止	熱中症・食中毒の予防 夏季の健康管理	生活リズムを整える ★心の健康	目の健康について ★心の健康	体力の維持・向上 歯口腔の健康	体力の維持・向上 性感染症について 冬季の健康管理	冬の感染症予防 ★心の健康	冬の感染症予防 ★心の健康	感染症の予防 一年の振り返り	
学校保健関係行事	前期入学式 津波地震避難訓練 保健調査	本校定期健康診断 新入生歓迎球技大会 ★保護者会講話 ★職員研修(AED)	協力校の健康診断 定通夏季体育大会 ★薬物乱用防止教育講話 ★人権講話	学校保健委員会 協力校学習交流会 前期考査 後期転編入試面接検査	前期卒業式 保健調査(後期入学) ★職員研修(場面緘黙について)	後期開始 学校保健委員会 職員研修(特別支援教育) 火災避難訓練	定通秋季体育大会	運動会 ワックス作業 世界エイズデー	後期考査	前期転編入面接検査 学校保健委員会	後期卒業式 新年度の取組み	
保健管理	対人管理	★保健・健康調査 保健たより発行 生徒状況報告会	本校定期健康診断 保健たより発行 生徒状況報告会	健康診断事後措置 保健たより発行 生徒状況報告会 協力校定期健康診断	健康診断事後措置 保健たより発行 生徒状況報告会 協力校定期健康診断	★後期入学の保健・健康調査 協力校定期健康診断	保健たより発行 生徒状況報告会	保健たより発行 生徒状況報告会	運動会前健康調査 保健たより発行 生徒状況報告会	保健たより発行 生徒状況報告会	次年度保健計画 保健たより発行	年間のまとめ 次年度保健計画 生徒状況引継ぎ
	対物管理	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 環境衛生検査 (飲料水・プール水) 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 貯水槽清掃 環境衛生検査 (空気 ダニアレルゲン) 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 環境衛生検査 (CO2検査) 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 環境衛生検査 (照度測定) 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策	安全点検 飲料水水質検査 救急薬品点検 感染症対策
保健教育	科目保健	【保健】①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり		前期授業のまとめ (考査)	後期受講登録	【保健】①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり		後期授業のまとめ (考査)	前期受講登録			
	関連教科	【家庭基礎】【生物基礎】【科学と人間生活】【公共】 【NHK 放送教育：保健】※通信制のため、放送教育を受けることで特設授業の代替を実施				【家庭基礎】【生物基礎】【科学と人間生活】【公共】 【NHK 放送教育：保健】※通信制のため、放送教育を受けることで特設授業の代替を実施						
	総合探究	※各年次で1時間設定している(平和・伝統芸能・キャリア教育)		※各年次で1時間設定している(平和・伝統芸能・キャリア教育)								
育特別活動	HR活動	保健調査票記入 前期生活状況調べ 健康診断事前指導 保健室の利用 感染症予防	健康診断の事前指導 ★心の健康 世界禁煙デー 感染症予防	う歯・食中毒予防 治療勧告と未検査者受診指導 感染症予防 ★薬物乱用防止教育 ★人権教育	健康診断事後指導 夏の健康管理(熱中症・食中毒の予防)	健康診断事後指導 感染症予防 結核予防月間	目の健康 ★心の健康 後期生活状況調べ 健康診断事後指導	歯肉の健康 感染症予防 健康診断事後指導	運動会前の保健指導 エイズ・性感染症 冬季の健康管理 健康診断事後指導	★心の健康 冬季の感染症予防	★心の健康 冬季の感染症予防	今年度の振り返り 次年度に向けて
	生徒	生徒保健委員会	生徒保健委員会	生徒保健委員会			生徒保健委員会		生徒保健委員会			
個別・日常指導	基本的生活習慣 健康診断の受け方 保健室利用 感染症予防対策	★心身の健康 感染症予防対策	歯口腔の保健指導 感染症予防対策	夏の健康管理(熱中症・食中毒の予防) 感染症予防対策	基本的生活習慣 作り 感染症予防対策	目のケアについて ★心身の健康 感染症予防対策	歯科の受診指導 体力作りとケガの 予防 感染症予防対策	ケガの予防 性感染症について 感染症予防対策	★心身の健康 感染症予防対策	★心身の健康 感染症予防対策	今年度の振り返り 感染症予防対策	
組織活動	教育相談 環境保健 特別支援教育委員会	教育相談 環境保健 特別支援教育委員会	教育相談 環境保健	教育相談 環境保健 学校保健委員会	教育相談 環境保健	教育相談 環境保健 学校保健委員会 特別支援教育委員会	教育相談 環境保健	教育相談 環境保健	教育相談 環境保健	教育相談 環境保健 学校保健委員会	教育相談 環境保健	

※「生命(いのち)の安全教育」を実施する教科等には「★」を付ける。

[16] 令和5年度 学校安全計画

月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点	交通安全・マナー指導	生活習慣を見直そう	部活動と安全	安全な学校生活	熱中症、感染症から身を守ろう	防災知識の養成	学校行事の安全	校内の環境美化に努めよう	感染症予防と対策	安全な日常生活	今年度の反省	
学校行事	前期入学式・始業式 地震津波避難訓練	新入生歓迎行事 定期健康診断	定時制夏季体育大会 交通安全指導	前期定期考査 巡回スクーリング	前期卒業式	後期入学式・始業式 火災避難訓練	定時制秋季体育大会 運動会	ワックスがけ	後期定期考査	次年度受講登録	後期卒業式	
安全 全 教 育	教科	体育施設の安全指導及び整備、点検 避難経路確認	飲酒・喫煙（薬物）について	現代社会と健康について	薬物乱用防止教育	夏季の生活の心得	初期消火指導	運動時の安全確認	感染防止対策 清掃指導	後期スクーリングのまとめ	感染症予防について	感染予防対策の徹底
	総合的な探究	前期は各年次とも2時間の実施。それぞれの年次でテーマが設定されているため、総合学習での安全学習は実施しない。					後期は転編入生及び前期に未履修の生徒が登録しており、前期と同じテーマで授業を実施するため、総合学習での安全学習は実施しない。					
	1年HR	車両通学生の交通安全マナー指導 避難経路誘導	喫煙と健康 飲酒と健康	定通大会時等の交通安全指導	夏季の生活の心得 薬物乱用防止教育	夏季の生活の心得 （熱中症予防）	避難訓練に向けての指導	定通大会等の交通安全指導 運動時の安全指導	感染症拡大予防対策指導 環境整備	冬季の健康管理 （感染症予防）	冬季の健康管理 （感染症予防）	次年度に向けての生活の心得
	2年HR	車両通学生の交通安全マナー指導 避難経路誘導	喫煙と健康 飲酒と健康	定通大会時等の交通安全指導	夏季の生活の心得 薬物乱用防止教育	夏季の生活の心得 （熱中症予防）	避難訓練に向けての指導	定通大会等の交通安全指導 運動時の安全指導	感染症拡大予防対策指導 環境整備	冬季の健康管理 （感染症予防）	冬季の健康管理 （感染症予防）	次年度に向けての生活の心得
	3年HR	車両通学生の交通安全マナー指導 避難経路誘導	喫煙と健康 飲酒と健康	定通大会時等の交通安全指導	夏季の生活の心得 薬物乱用防止教育	夏季の生活の心得 （熱中症予防）	避難訓練に向けての指導	定通大会等の交通安全指導 運動時の安全指導	感染症拡大予防対策指導 環境整備	冬季の健康管理 （感染症予防）	冬季の健康管理 （感染症予防）	次年度に向けての生活の心得
生徒会活動	前期入学式 始業式	新入生歓迎行事	定時制夏季体育大会	薬物乱用防止講話 （生徒保健委員会）	前期卒業式		定時制秋季体育大会 運動会				後期卒業式	
安全 管 理	対人管理 学校生活	不審者への対処方法確認 救急体制の確認 避難経路の確認	禁煙（薬物）指導 健康診断事後指導	部活動、生徒引率時の安全確認	部活動時の安全確認 （熱中症、感染症予防対策）	卒業式に向けてのマナー指導 感染症予防対策	避難訓練の実施 避難経路の確認	部活動時の安全確認 生徒引率時の安全確認	ワックスがけ	感染症拡大予防対策	感染症予防対策 卒業式に向けてのマナー指導	年度のまとめと反省
	対物管理 学校環境	校内外の安全点検 駐車場の整備 防災・防火計画の周知 職員研修	校内外の安全点検 グラウンド整備	校内外の安全点検	校内外の安全点検	校内外の安全点検 照度測定	校内外の安全点検 防災訓練職員研修	校内外の安全点検 グラウンド整備	校内外の安全点検	校内外の安全点検	校内外の安全点検	校内外の安全点検
安全確保に関する点検	緊急地震速報器の操作確認	感染症予防のための消毒等の確保	放送設備点検	感染症予防のための消毒等の確保	防火扉点検 消火設備の確認	非常階段点検	感染症予防のための消毒等の確保	感染症予防のための消毒等の確保	感染症予防のための消毒等の確保	感染症予防のための消毒等の確保	放送設備点検	危機管理マニュアルの見直し
課外指導 個別指導	車両通学駐車登録 検温 消毒指導	車両通学全体指導 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	車両通学者の指導 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	校内外巡視 検温 消毒指導	駐車登録証回収 検温 消毒指導
P T A 等 組織活動	PTA がないため活動予定なし											

[17] 防災・防火計画

1 基本方針

- (1) 防災・防火の安全教育を徹底し、避難訓練等を実施する。
- (2) 防災・防火にあたっては、職員・生徒が協力し合って、所定の行動をとる。

2 日々の注意事項

- (1) 最後に帰宅する職員は、戸締まり、消灯後施錠、鍵を事務室鍵箱に返却し、警備員に一声掛けて帰宅する。
- (2) 扇風機やスタンド、共有パソコン、職員個別用パソコンは電源を切る。台風及び落雷の恐れがある際にはコンセントを抜く。
- (3) 各教室、準備室、施設等の鍵は鍵箱に返却する。

3 非常時分担

(1) 防災、盗難防止責任者	校長
(2) 防災係（消火、物品搬出）	教頭
(3) 盗難予防係（鍵の保管）	事務長
(4) 訓練、企画係（対内外）	教諭

4 火気取締責任者

場 所	責 任 者	場 所	責 任 者
校長室		進路室	
副校長室		図書館	
事務室		普通教室	
職員室		生物教室・準備室	
談話室		化学教室	
保健室		校友会室	
被服室・準備室		パソコン室	
調理室		書道教室	
作法室		音楽教室・準備室	
休憩室（男）		視聴覚室・準備室	
休憩室（女）		物理教室・準備室	
教育相談室		LL教室	
就学支援センター		体育館	